

社会科（地理的分野）調査資料 1 - 2

項目	書名 中学社会 地理 地域に学ぶ 17 教 出
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○ページの初めに学習課題を提示し、「ふりかえる」で発展的な課題を提示することにより、地域的特色等を考察し、基礎的事項の確認、整理などの表現活動ができるようになっている。 ○各章のまとめで作業学習を取り入れたり、自分の言葉で表現させたりすることで、地理的な見方や考え方を育成するようになっている。 ○「地理の窓」や世界の各州や日本の各地方での事例をもとに、今日的課題に迫る特設ページを設け、個に応じた学習が進められるようになっている。
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きページの始めで資料と説明文から学習課題を導き出し、最後に「ふりかえる」のコーナーで整理することにより、基礎的・基本的知識を習得するようになっている。「身近な地域の調査」で地形図の見方や活用について取り上げている。「学習のまとめと表現」で節ごとの知識の定着を図るようにしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き右下欄外に「ふりかえる（ステップ2）」が設定されている。地理的現象についての説明や話し合いなどの表現活動によって、思考力等を高めるようになっている。 ○単元の終わりに、「学習のまとめと表現」のページが設けられている。この課題を自分の言葉で説明することで、思考力・判断力・表現力等を育成できるようになっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の話題や身近なできごとを紹介する「地理の窓」を設定して、興味・関心を高め、主体的に学習に取り組ませるようになっている。 ○学習した知識を生かし、より現実的なテーマに主体的に取り組める「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」を設けている。 <p><地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入での「見てみよう」では学習のきっかけや追究の中心となる資料へを捉えたり、「読み解こう」で資料を読み取り考えを深めたりすることで地図やグラフから地理的な見方ができるようにしている。 ○「学習課題」を示すことにより、地理的な考え方の道筋を示し、おもに「ふりかえる」のステップ2で学習内容を活用して表現できるようになっている。 <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○冒頭に登場する挿絵の人物の問いかけが、その地域の生活に対する地理的認識を養うためのきっかけとなっている。 ○地域の人物の発言や「地理の窓」から、そこで生活する人々の実態、思いや地域的特色をとらえるように工夫されている。
色	<ul style="list-style-type: none"> ○両開きの折込ページに、ダイナミックな衛星画像や伊能忠敬の日本地図、鳥瞰図などが掲載され、地図への興味・関心と資料活用能力を高めるように工夫されている ○巻頭の扉ページには、生徒が触って体感することができるように、点字の加工が施されている。 ○巻末の「用語解説」は、地理的用語を6項目に区分し、わかりやすく、詳しく解説するとともに、その用語が重要語句となっているページを参照できるように工夫している
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○地名・人名等の固有名詞や社会科特有の用語などには、ふりがなが付けられており、第1学年の学習範囲には小6の学習配当漢字にもふりがなを付けることで、読みのつまづきが軽減するように配慮されている ○資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるよう工夫されている。 ○色覚特性がある生徒にも判別しやすい色や形状を工夫し、ユニバーサルデザインに配慮している。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○地名・人名等の固有名詞や社会科特有の用語などには、ふりがなが付けられており、第1学年の学習範囲には小6の学習配当漢字にもふりがなを付けることで、読みのつまづきが軽減するように配慮されている ○資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるよう工夫されている。 ○色覚特性がある生徒にも判別しやすい色や形状を工夫し、ユニバーサルデザインに配慮している。
総 括	<p>学習課題の提示や写真・グラフなどの諸資料、作業学習などにより、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、発展的な課題の提示や「ふりかえる」によって、個に応じた学習が進められるようになっている。また、「見てみよう」「読み解こう」で資料の読み取りや活用の力を段階的に高められるようになっている。</p>

社会科（地理）調査資料 1 - 4

書名		1 1 6
項目	中学社会 地理的分野	日 文
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○世界の州ごとにテーマ、日本の地域ごとに視点を明らかにして、各時間の課題学習に結び付けて、地域的特色を理解させるようになっている。</p> <p>○授業時間ごとの課題を解決するために、写真・図版を読み取ったり、資料をまとめたり、考えたりすることによって、地理的な見方や考え方を育成するようになっている。</p> <p>○「地理プラスα」「自由研究」などの具体的事例や補充事例を通して、地域的特色や課題をとらえられるようになっている。</p>	
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○本文横に地理的用語を紹介する「キーワード」を、学習のまとめに「チェックボックス」を設け知識の習得を図っている。章ごとの「学習の活用」では基礎的・基本的な知識の定着できるようにしている。「日本の姿」で基礎的な技能の習得が図れる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○見開き右下欄外に「学習の活用」という課題が設定されている。「説明しよう」「予想しよう」等の課題に取り組むことで、思考力等の育成ができるようになっている。</p> <p>○単元の終わりに「学習のまとめ」という課題が設定されている。学習内容について自分の言葉で説明することで思考力・判断力・表現力等を育成するようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○全生徒の学習意欲を高めるため、「地理プラスα」を設けて興味・関心を高め、主体的に学習に取り組ませるようになっている。</p> <p>○「自由研究」「地域からのメッセージ」により、さらに深く学習できるテーマが設けられている。</p> <p><地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫> ○「トライ」や「スキル UP」を通じて必要な技能を身につけ、地理的な見方の基礎が身に付くようにしている。</p> <p>○「学習課題」を示すことにより、地理的な考え方の道筋を示し、「学習の確認と活用」で学習内容の確認とそれを活用して表現できるようになっている。</p> <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫> ○写真や地図等に対する挿絵の人物の問いかけが、地域的特色に対する地理的認識を養うためのきっかけとなっている。</p> <p>○様々な分野の人々にインタビューする「声」により、実際にそこに住む人々の思いや生活の様子を取り上げて、地理的認識を高めようとしている。</p>	
資 料	<p>○各種の主題地図・雨温図を、どの州・地方でも、体裁・配置・サイズを統一して掲載しており、州・地方内での対比、他の州・他の地方との比較を可能にすることで、地域的特色の理解を容易にしている。</p>	
表記・表現	<p>○巻末の「用語解説」は、地理的用語を6項目に区分し、わかりやすく、詳しく解説するとともに、その用語が重要語句となっているページを参照できるように工夫している。</p> <p>○資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○色覚特性がある生徒にも判別しやすい色や形状を工夫し、ユニバーサルデザインに配慮している。</p>	
総 括	<p>学習課題に対して、写真、グラフ、地図などの資料を使って考え、「学習の確認と活用」により基礎的・基本的な知識・技能の習得を図っている。「地理プラスα」で現代のトピックスを伝え、「自由研究」で補充・発展的な学習を行わせ、個に応じて主体的に学習するようになっている。</p>	